

<p>3 事業目的</p>	<p>【事業を行うとにより解決された課題】 パーラー公民館を拠点に地域防災への取り組みとして、曙小学校のまつりに合わせてパーラー公民館を開催し、会場で「防災クイズ」を行い地域のみなさんと災害について学びました。</p> <p>昨年度の曙小学校区まちづくり協議会(以下まち協)の防災学習において、コロナ禍の中での災害避難を想定した「学校避難所ゾーニング」では、避難人数の制限や避難所としての運営が難しいなどの課題や問題点が確認できました。</p> <p>石嶺小まち協が行った、曙小まち協「学校避難所ゾーニング」をリモート防災学習会、その中では銘苅小まち協の防災についての取り組みの報告がありました。</p> <p>銘苅小まち協には協働大学でインターシップ先として「災害時避難行動要支援者」モデル事業に関わった経緯があり、学ぶことが多くありました。そこで、三まち協の連携により災害時の課題や問題点の掘り出し、情報交換により支援のあり方などを考えることが出来ると思われました。</p> <p>三まち協が参加した「うみやま連携まちあるき」では、防災、減災の学習など連携の必要性を確認し、三まち協連絡協議会も開催することになりました。</p> <p>リッカヤールキャラバンでは、残念ながら本番開催はできませんでしたが次年度開催に向け、各自が担当プログラム(10プログラム予定)を学習し真剣に取り組む姿勢が見られました。地域からもスタッフとしての参加者が少しずつ増え防災の意識につながっていると喜んでいきます。</p> <p>このイベントは子どもも大人も楽しみながら防災知識を身につけることができます。</p>
<p>4 公益性</p>	<p>【市民や地域への社会貢献度について】 パーラー公民館は、地域拠点として情報発信、収集が出来る利点を活かし防災、減災の意識を共有出来る場所として活用出来る。</p>

<p>5 事業内容 *具体的に記入してください。</p>	<p>①実施場所</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パーラー公民館 (曙公園 毎月第3土曜日) 2. あげぼのまちあっちゃ〜 (曙地域を歩く) 3. うみやま連携まちあるき (曙地域から石嶺地域まで歩く) 4. 曙っ子まつり (曙小グラウンド) 5. 親子で学ぶ防災教室 (地域連携室～避難道散策) 6. リッカヤールキャラバン研修会 (1回目：若さ公民館からリモート・2回目：曙小地域連携室・3回目：曙小ピロティ) <p>2 対象者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 曙地域市民 30人 2. まち協と社協 8人 3. 三まち協・市職員他 35人 4. 曙小学校PTCA 100人 5. 親子と地域25人 6. まち協・ボランティア 延べ 86人 <p>3 内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パーラー公民館で子ども館長・副館長の任命式。 リッカヤールキャラバンの告知 2. あげぼのまちあっちゃ〜 津波避難ビル、危険箇所、避難道の確認、防災地図作成 3. うみやま連携まちあるき 銘苺・石嶺・曙まち協連携の防災学習 4. グラウンドにパーラー公民館を設置し防災コーナーを設け、会場内で防災クイズを実施 5. 親子で学ぶ防災教室 曙地域の地形を学び、避難訓練時の道と異なる新たな道を確認し、災害の種類で避難道が変更になることを学ぶ 6. 遊びを取り入れた防災イベントの研修会 (全3回) リモート研修 (蔓延防止期間) プログラムと備品の確認 プログラムの実践研修
----------------------------------	--

<p>6 実現性・感染症対策</p>	<p>【緊急事態宣言等の発令時における活動の取り組み】 【コロナウイルス感染症対策】</p> <p>感染対策は、体温測定、消毒液、空気清浄機、サーキュレーターの使用などで対応しています。 コロナ禍の中でまち歩きやリッカヤールキャラバンのイベントも屋外での対応だったためリスクも少なく済んだ。 体温測定と消毒液使用し感染症対策にも務めました。</p>
<p>7 波及効果・今後の展開</p>	<p>三まち協でのまち歩きは、12Kmのハードな道のりだったが、地域の特徴や地域の様子を確認し、平時の連携の必要性と、災害時に協力できる体制づくりを実感させられました。</p> <p>親子防災教室では、まち歩きで地域の特徴を知り、地形を見てどこが危険箇所なのか、どんな災害に対応するのかを考えて災害時の行動を意識できた。子どもたちは、年2回学校での避難講話、避難訓練で学習しているがまち歩きは更に意識を高めることになった。</p> <p>リッカヤールキャラバンのイベントのボランティア研修会では、研修を重ねる毎に各自が担当するプログラムを实际体験した中で色々な提案が出され本番に向けて意欲を見せてくれています。 楽しみながら取り組める事を多くに伝えたいとも話してくれた。 今回、イベント実施に繋がらなかったのですが令和4年4月以降に予定をし実施したいと思います。リッカヤールキャラバンは、まち協の行事に取り入れ、毎年開催出来るよう進めたいと思います。</p>

<p>8 その他の反省点など</p>	<p>コロナ蔓延防止の発令で施設や公園が利用できなかった事 学級閉鎖があったりと活動を自粛、会議も延期や中止となり なかなか事業を進められなかった。 リモートでの会議ができたなら良かったなどの反省があり メールでは伝わりにくい事が話し合えたのではと思いました。</p>	
<p>9 スケジュール (なるべく詳細に記入してください。予定でかまいません)</p>	<p>時期</p>	<p>内容 (場所・参加対象・人数など)</p>
	7月19日(月)	担当者会議(連携室 4人)
	8月31日(火)	まち歩き(曙地域、まち協、社協 8人)
	10月19日(火)	担当者会議(連携室 4人)
	11月20日(土)	パーラー公民館(曙公園 地域 30人)
	12月10日(金)	担当者会議(連携室 4人)
	12月12日(日)	うみやま連携まち歩き(曙小学校から石嶺小学校までの歩き、銘苺・石嶺・曙小区まち協・DMPO 35人)
	12月19日(日)	曙っ子まつり・防災クイズ(曙小学校グラウンド PTCA200人)
	12月23日(木)	ヤール打合せ(若狭公民館、まち協、公民館職員3人)
	12月27日(月)	ヤール打合せ(若狭公民館、まち協、公民館職員 4人)
	1月12日(水)	ヤール打合せ(若狭公民館、まち協、公民館職員 2人)
	1月14日(金)	ヤール打合せ(若狭公民館、まち協、公民館職員 3人)
	1月20日(木)	ヤールキャラバン1回目リモート研修会(若狭公民館 まち協、公民館職員、ボランティア 23人)
	1月31日(月)	ヤール打合せ(若狭公民館、まち協、公民館)

	職員 4人)
2月10日 (木)	ヤール打合せ、備品借用(若狭公民館、 まち協、公民館職員 5人)
2月15日(火)	ヤールキャラバン2回目研修会(連携室、 まち協、公民館職員、ボランティア 28 名)
2月26日(土)	親子で学ぶ防災教室(地域連携室、まち 協、親子、地域 25人)
2月27日(日)	ヤールキャラバン3回目実践研修会(曙 小グラウンド、ピロティ まち協、公民 館職員ボランティア 35名)

10事業実施に関して協働(連携)した行政機関・他団体の有無。該当する箇所に☑等を記入してください。)、協働の内容について記入してください。

行政との協働(☑企画に協力 ☑資金提供 ☑告知などの協力

☐その他())

他団体との協働(☑企画に協力 ☐資金提供 ☑告知などの協力

☐その他())

☐無し

協働の内容

地域防災について石嶺・銘苅小学校区まちづくり協議会と連携し、なは市民活動支援センター、那覇市まちづくり推進課、NPO法人地域サポートセンターわかさ、災害プラットフォームおきなわ、まちなか研究所わくわく、那覇市社会福祉協議会、那覇市地域包括支援センター、那覇第一民生委員児童委員協議会、他地域企業との協働。